

第2回委員会以降の取組経過の報告

1. 第2回志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会議事報告

平成26年2月5日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 第2回委員会 議事概要

- 1 開催日時 : 平成24年12月18日(火) 15:30~17:00
- 2 場 所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)
- 3 出席委員 : 山崎英樹委員長、山下潔委員、藤原悟委員、藤原昭男委員、天津芳郎委員、植田充弘委員、舘健一郎委員

4 議事次第

1) 開会

2) 挨拶 山崎英樹委員長(飯南町長)

3) 出席者紹介

4) 議事

(1) 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正について

(2) 志津見ダム水源地域ビジョン平成24年の実施内容について

(3) 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について

① 志津見ダム水源地域ビジョンに関する情報提供

② 志津見ダム水源地域ビジョンの平成25年以降のアクションプラン計画(案)について

③ 志津見ダム水源地域ビジョンの広報計画(案)について

(4) その他

5) 閉会

5 配布資料

- ・資料-1 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正(案)
- ・資料-2 平成24年アクションプラン実施内容報告
- ・資料-3 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定
- ・資料-4 志津見ダム水源地域ビジョンの広報計画(案)
- ・参考資料1 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会設立趣意・規約・委員名簿
- ・参考資料2

6 議事要旨

【委員からの主な意見】

(1) 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正について

- ・特に意見はなく、承認された。

(2) 志津見ダム水源地域ビジョン平成24年の実施内容について

【委員】

- ・先行アクションプランの中で実施できていないものについて、できなかった理由は何か。

【事務局】

- ・「山の恵み学習会」、「イメージキャラクターの活用」、「マップづくり」については意見交換が、しっかりできなかったことが原因と思われる。今後地域懇談会を通じて内容を検討したい。「クリーンウォーク」、「草刈り研修会」、「自然観察会」は地域の方から課題点を出していただいているので、これらをひとつずつ克服しながら来年度以降何らかの活動をしたい。

(3) 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について

【委員】

- ・アンケート結果で「散策をしたい」という意見が多いが、アクションプランの中で対応する項目があまりない。
- ・志津見ダムの場所が地域外の人にとって知られていない。
- ・企業のCSRは非常に大事であり、これがうまくいくと大量の動員が容易にできるので、積極的にやって頂きたい。
- ・ダム便りの配布先については島根県西部を追加したほうがよい。
- ・ダム便りの内容については、取り組みの事前予告を行ったほうがよい。

【事務局】

- ・散策についてルートづくりも含めて、地域の見所を入れた「マップづくり」で対応していきたい。マップの活用方法については、「元気にする会」で検討していきたい。
- ・志津見ダムの場所については、看板の検討を行い場所についてわかりやすいようにするとともにダムを見る視点場を作ってPRしていきたい。
- ・企業のCSRについては積極的に取り組む予定である。
- ・ダム便りについては、斐伊川流域、島根県西部、広島県北部を追加し対応するとともに事前の情報提供に努める。

以 上

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 第2回委員会が出された意見に対する対応状況

委員からの意見	委員会での回答	平成25年の実施内容
アンケート結果で「散策をしたい」という意見が多いが、アクションプランの中で対応する項目があまりない。	散策についてルートづくりも含めて、地域の見どころを入れた「マップづくり」で対応していきたい。マップの活用方法については「元気にする会」で検討していきたい。	○散策マップについては今後の「元気にする会」等で検討していく。
志津見ダムの場所が地域外の人にとって知られていない。	志津見ダムの場所については、看板の検討を行い場所について解りやすいようにするとともに、ダムを見る視点場を作ってPRしていきたい。	○ダムの場所を示す新しい看板の設置については設置位置について調整中。 ●視点場については、ダム下流、ダム湖中流に設け、ダム下流位置についてはPR資料を作成しダムにて掲示を行った。
企業CSRは非常に大事であり、これがうまくいくと大量の動員が容易にできるので積極的にやっていただきたい。	企業CSRについては積極的に取り組む予定である。	●11月3日（日）に、紅葉祭とあわせ開催し、5社19名の参加を得た。
・ダム便りの配布先については、島根県西部を追加したほうがよい。 ・ダム便りの内容については、取り組みの事前予告を行った方がよい。	ダム便りについては、斐伊川流域、島根県西部、広島県北部を追加し対応するとともに、事前の情報提供に努める。	●配布場所については、斐伊川下流域及び島根県西部の大田市周辺、広島県北部の三次市を追加した。 ●イベント等の情報は事前の広報を行った。

● 対応済
○ 対応中